

# 海星



薩摩川内市立海星中学校  
令和6年11月27日発行

## 2024年を振り返る～「常若(とこわか)」「不易流行」～ 校長 木之下 悦朗

1か月後に、大晦日(おおみそか)がやってきます。その後、元日、正月三が日は、神社やお寺に初詣に行く人も多いでしょう。家内安全、健康・安全・・・を願う家庭も多いと思います。

ところで皆さんは、出雲大社や伊勢神宮の「遷宮」を知っていますか。これについて、「しまね観光ナビ」HPによると、「御神体や御神座を本来あった所から移し社殿を修造し、再び御神体にお還(かえ)りいただく(略)」ということだそうです。出雲大社は60年ごと、伊勢神宮は20年ごとに行われます。目的は、伊勢神宮のHPによると、「建築技法の御東帯神宝などの調度品を現在に伝えることができ、今でもいつでも新しく、いつまでも変わらない姿を臨むことができます(略)。」とあります。このことを「常若(とこわか)」と言うようです。

また、「不易流行」という四字熟語もあります。「時代を超えて変わらない本質的なもの(不易)と時代や状況に応じて変化するもの(流行)を調和させる概念)」

初詣、遷宮について書きましたが、正月(その年の新しい歳神様を家族そろってお迎えして、祝う、大切な日)も、同じ概念が日本人のDNAには強く刻み込まれているのかもしれない。

さて、今年、私を一番、元気にしてくれたニュースは、大谷翔平選手の活躍でした。結果として、MLB(大リーグ)でナショナルリーグのMVP(最優秀選手)に選ばれました。今年は、指名打者としてホームランと盗塁の数がどちらも50以上の「50-50」の記録を成し遂げました。以前に獲得2回のMVPにも、投打の二刀流に感動しましたが、今回の活躍には、さらに勇気と元気をもらいました。

大谷選手には多くの逸話をありますが、高校1年の時に作った目標達成シートに、年齢とその年に成し遂げる夢を設定したことは有名です。達成できなかったこともあります。それに向けて頑張った結果が現在につながっていると思います。目標に向かって一心不乱に頑張る変わらぬ気持ち(不易)。そのためには、最善の方法(自分がやってこなかった新しいやり方)を取り入れる(流行)のもすごいですが、MVPについて、「本当にドジャースの一員として代表してもらったと思っているので、みんなできのみ取ったのだと思っている。MVPを取りたいなと思ってシーズンに入ったわけではないので、新しいチームで早くファンやチームメイトに認められたいなという思いで、特に前半戦はそういう感じでやっていた。」と話す大谷選手に、私は、改めて彼の人間性の素晴らしさに脱帽しました。

生徒の皆さん、今年もあと1か月ありますが、来年の目標はどうしますか?一年の目標を立ててはみませんか?

保護者の皆さま、おかげさまで無事、大きな行事も成功裏に終わることができました。ありがとうございます。1か月後には、年末年始を迎えます。3年生は直近の私立入試まで60日となり、1・2年生もこの時期、家庭で、子どもたちが自分の人生設計について考える時期が来ました。常に「学び続ける」姿勢を身につけさせる機会を設けていただけないでしょうか。「島立ち」後に大きく成長できるように、一緒にいる残り少ない時間を大切に、

絆を強くして欲しいという願いを込めて巻頭言を書かせてもらいました。毎日、新しい朝がやってきます。そして子どもたちも、学校で毎日、学び続け、得たものを更新しながらも、学校生活を過ごしています。長く続く変わらないものと調和しながら、どこでも「生きる力」を発揮してほしいものです。下甌から大谷選手のような「感謝」の気持ちを忘れない人が出てくれればいいですね。成果がすぐに出ないのが子育てと教育です。学校と保護者が力を合わせて、大谷選手のような、強い意志を持って頑張りました。

## 市誕生20周年記念第47回文化祭♪

11月2日(土)に「輝け～スポットライトの下の青春～」のテーマのもと第47回文化祭を開催しました。

各学年の劇やダンス、中期交流学习や英語スピーチ、全体合唱・合奏など、趣向を凝らした文化祭となりました。

また、本校の特色「魅力ある地域」から4地区の郷土芸能、「長浜波濤太鼓」「港ヤンハ」「鹿島太鼓」「青瀬ヤンハ」の披露もあり、文化祭を盛り上げることができました。お忙しい中、御指導いただいた、指導者・保存会の御協力に感謝申し上げます。

全生徒が一人何役もこなし、覚える台詞や動き、演奏など、この日のために一生懸命練習に励みました。本番の緊張感、やり遂げた満足感、達成感を味わえ、大きな自信につながったことと思います。まさに、スポットライトを浴びた青春の1ページを刻むことができ、来場された方々にも大きな感動を届けることができました。

また、展示では、授業での作品を中心に、どれも授業での取組の様子が伝わる作品ばかりでした。今年度も全員で作り上げた「魅力ある文化祭」となりました。



文化祭大成功

## 薩摩川内元気塾

11月14日(木)に海星中校区全児童・生徒が集まり、薩摩川内元気塾を開催しました。今回は、かごしまアートネットワークの方々をお招きし、「リズムでつながる心の輪(和)ドラムサークル」という打楽器を使った、ワークショップを行いました。円形状に並べられた椅子にそれぞれが自由に座り、そこに置かれた打楽器を、講師の方々のリードで叩いて、参加した児童・生徒、職員、保護者でお互いを感じながら、最後は全員が一体となって音を楽しむことができました。

まさに「芸術の秋」にふさわしい時間となりました。



## 芋づくり活動(収穫)

5月から始まった、芋づくり活動が、11月12日(火)の収穫をもって終了しました。畝作り・マルチ張り、苗植え等を行い、芋畑の管理を行いました。今年は、夏の猛暑の影響か、例年に比べ、収穫量が少なかったのが残念でしたが、生徒は、芋の大きさを競うように掘り出し、収穫することができました。

今後は、吉永酒造さんの全面協力のもと、3年生の卒業記念である、「甌州 Journey」を作っていただきます。11月19日(火)に3年生は、吉永酒造に行き、焼酎造りを見学しました。そして、自分たちの育てた芋が、焼酎になる工程を学びました。どんな焼酎になるのか楽しみです。



## 赤い羽根共同募金

10月7日～11月2日の間、生徒会による、「赤い羽根共同募金」を行いました。

今回は、文化祭でも来場者に呼びかけ、合計11,183円の募金が集まりました。御協力ありがとうございました。

募金活動を通して、自分の住んでいる地域や助けが必要な人たちのために役立てられることを知るきっかけとなりました。

## 『居場所・絆コーナー』

今月は、先日開催された、薩摩川内市家庭教育学級研修会に参加した内容を御紹介します。今回は、ことばプロデュース代表の池上美弥子さん(元ニュースキャスター)の御講演でした。内容は、新聞音読を通して、「自分のことば」で語れる子に育てていきたいと思います。

みなさんは、新聞を読むときは黙読されるかと思いますが、音読といっても、そのまま読むのではなく、聞いている人に記事の内容を教えるように読むことが大切とのことでした。実際に挑戦してみると、記事の内容を相手に伝えるように音読することで、理解を深められ、自分の言葉として、伝えられるようになります。

活動を通して、新聞音読は、現代の子供たちに必要な力である「思考力・判断力・表現力」を培うことができ、また、人前で堂々と話すこともできるようになると思います。御家庭で少しずつでも新聞音読を始めてみませんか?



月	日	曜	主な行事予定(変更の可能性あります)
12	2	月	薩摩川内いじめのない学校づくりの日
	3	火	人権学習
	4	水	人権週間～10日
	11	水	持久走大会試走
	12	木	授業参観・学級PTA(1・2年生)
	14	土	持久走大会
	16	月	家庭学習強調・生活リズムチェック週間～22日
	24	火	終業式
	27	金	仕事納め 年末年始休業:12/28～1/5

